

第7期 決算速報

(平成12年7月1日～平成13年6月30日)



平成13年8月8日

株式会社 旅籠屋

会社名(定款上の商号)	株式会社 旅籠屋
英文名(英文商号)	Hatagoya & Company
代表者の役職氏名	代表取締役社長 甲斐 真
本店の所在の場所	東京都台東区寿3丁目3番4号
電話番号	03-3847-8858
連絡者	代表取締役社長 甲斐 真

当期の業績の概況

(1) 損益の状況

損益計算書 (単位: 千円)

	第1四半期 H12.7.1～ H12.9.30	第2四半期 H12.10.1～ H12.12.31	第3四半期 H13.1.1～ H13.3.31	第4四半期 H13.4.1～ H13.6.30	当期累計 H12.7.1～ H13.6.30	前年同期累計 H11.7.1～ H12.6.30
売上高	28,386	15,567	12,580	23,916	80,450	44,174
営業費用	25,747	26,327	22,830	28,626	103,531	75,883
営業損益	2,639	10,759	10,250	4,709	23,080	31,708
営業外収益	12	181	501	1,634	2,329	8,128
営業外費用	1,333	1,329	2,085	2,380	7,128	4,222
経常損益	1,318	11,908	11,833	5,455	27,879	27,802
特別利益	-	-	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-	-	158
法人税等	-	-	-	770	770	715
当期損益	1,318	11,908	11,833	6,226	28,650	28,676
前期繰越損益	-	-	-	74,659	74,659	45,982
当期末処分損益	-	-	-	-	103,309	74,659

期中平均 発行済株式総数	4,980 株	4,980 株	4,980 株	5,585 株	5,131 株	4,036 株
1株当たり当期損益	264 円	2,391 円	2,376 円	1,114 円	5,583 円	7,101 円

潜在株式調整後の1株あたりの当期損益は、最終損益がマイナスとなるため記載を省略しております。

	前期実績 H11.7.1 ～H12.6.30	期首事業計画 H12.7.1	修正事業計画 H13.2.23	当期実績 H12.7.1～H13.6.30				
				鬼怒川	那須	秋田六郷	本社他	全社合計
売上高	44,174	81,112	76,708	40,878	19,459	11,113	8,999	80,450
営業損益	35,436	-	-	8,524	1,237	4,989	27,854	23,080
経常損益	28,038	20,779	-	8,489	267	4,989	31,112	27,879
当期損益	28,676	21,400	26,904	8,167	267	5,149	31,401	28,650

売上高 冬季の寒波の影響もあり「那須店」「秋田六郷店」の初年度売上が低調であったため、本年2月に76,708千円へ下方修正しましたが、2年目に入り両店の稼働率が急増したことなどにより、最終的にほぼ期首計画値を達成(99.2%)しました。

営業損益、経常損益、当期損益

店舗増により売上高がほぼ倍増したため営業損失は前期に比べ大幅に圧縮され、経常損失・当期損失も前期を若干ながら下回り損失増加の流れを反転させることができました。店舗別に見ると、「鬼怒川店」は客室が16室から19室に増えた影響もあり、当期利益が前期の6,832千円から8,167千円に増加しました。

「那須店」は営業利益が1,237千円であったものの、金利負担などにより当期利益は若干のマイナスとなっております。

「秋田六郷店」については開業費用の一部が今期負担となったことと冬季を中心に稼働率が低迷したため、当期損失が5,000千円を超える結果となっております。

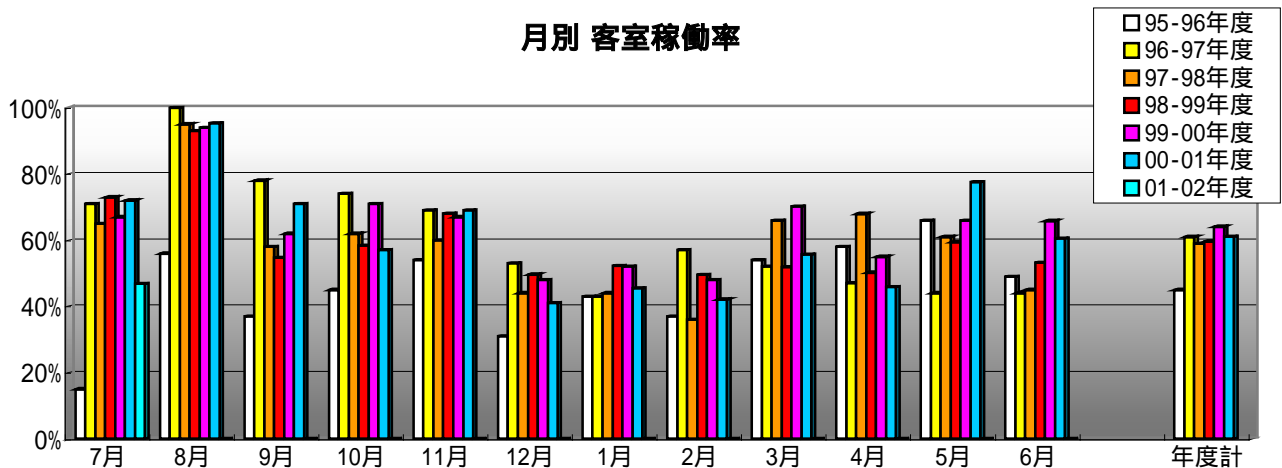
「本社」については経費の節減を図りましたが、要員の増加と「山中湖店」「沼田店」の出店費用などにより、当期損失が30,000千円を超えております。

(2) 店舗別の状況

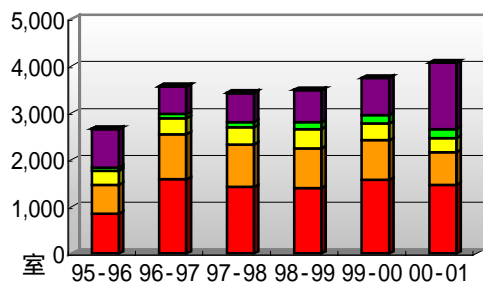
「鬼怒川店」 (単位：千円)

	第2期 H7.7.1-H8.6.30	第3期 H8.7.1-H9.6.30	第4期 H9.7.1-H10.6.30	第5期 H10.7.1-H11.6.30	第6期 H11.7.1-H12.6.30	当期 H12.7.1-H13.6.30
客室稼働率	45.3%	61.0%	58.7%	59.7%	63.9%	61.2%
客室単価	8,162 円	9,370 円	9,917 円	9,915 円	9,973 円	9,288 円
室料売上	21,670	33,405	33,947	34,562	37,338	37,755
室料外売上	1,368	1,796	1,937	2,275	2,208	3,122
売上合計	23,039	35,202	35,884	36,837	39,546	40,878
(償却前)費用合計	22,563	24,380	23,645	23,039	25,307	24,312
(償却前)営業損益	475	10,750	12,239	13,798	14,239	16,566

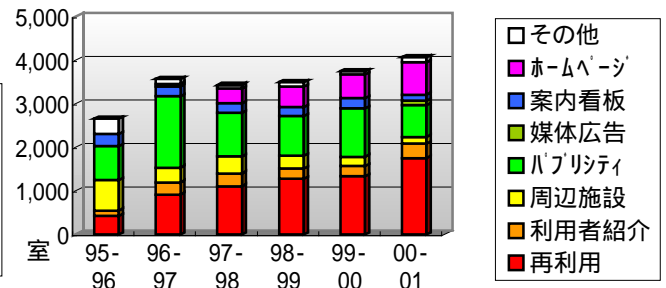
月別 客室稼働率



「鬼怒川店」利用者構成 年度別推移



「鬼怒川店」認知経路 年度別推移

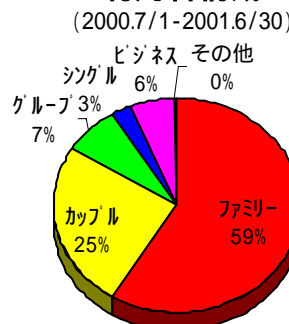


客室稼働率 春以降は回復し、客室が3室増えたにも関わらず通期で60%を維持しました。
 利用者構成 ビジネス利用が急増(前期21%、当期35%)し、その影響で客室単価が減少しております。
 認知経路 再利用(43%)、利用者紹介(30%)、ホームページ(18%)の割合が増えております。
 損益・収支 当期利益8,167千円となり、キャッシュフローも大幅なプラスとなっております。

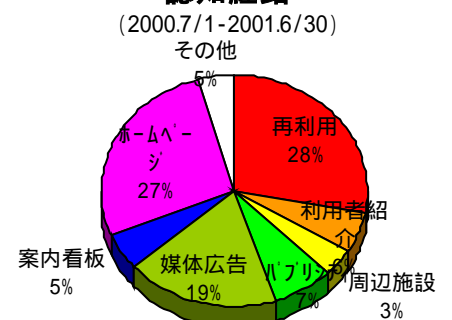
「那須店」 (単位：千円) ……2000年4月25日オープン

	第6期 H12.4.25-6.30	当期 H12.7.1-H13.6.30
客室稼働率	25.1%	40.0%
客室単価	9,776 円	10,883 円
室料売上	2,678	19,078
室料外売上	35	380
売上合計	2,713	19,459
(償却前)費用合計	5,608	13,313
(償却前)営業損益	2,894	6,145

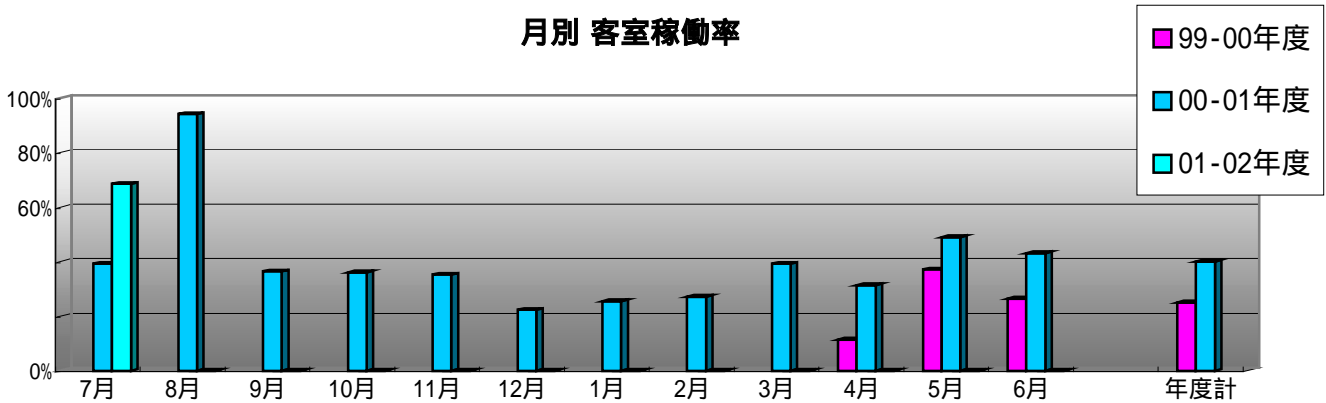
利用者構成



認知経路



月別 客室稼働率



客室稼働率 当初目標の 55% に対し 40% にとどまりましたが、2 年目に入り大幅増加となっています。

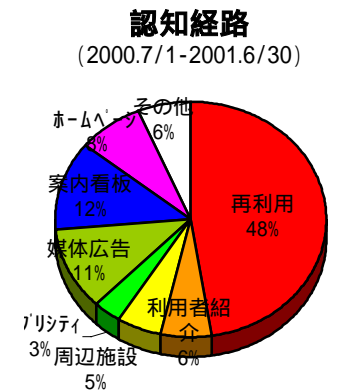
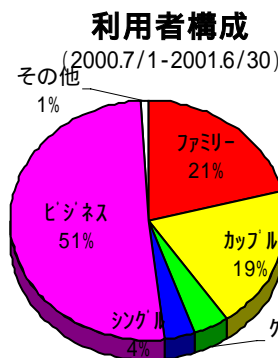
利用者構成 観光客中心でファミリーが 59% を占めていますが、ビジネス利用も漸増しています。

認知経路 再利用が 28%、ホームページが 27% を占めています。前期との比較では、利用者紹介 (1% 6%)、媒体広告 (8% 19%)、看板広告 (1% 5%) の増加が目立ちます。

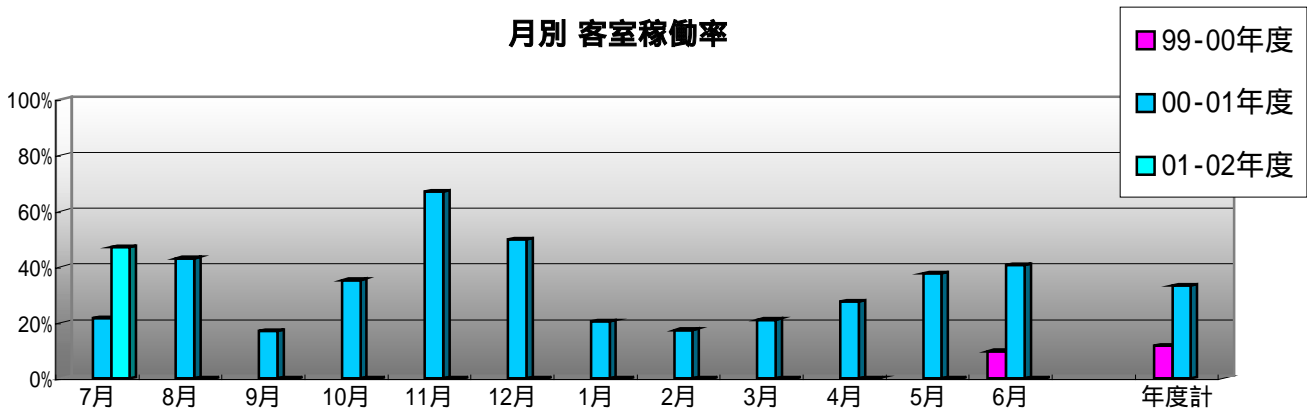
損益・収支 稼働率が目標値を大幅に下回ったものの、減価償却前の営業利益は 6,145 千円、当期損益は 267 千円、借入金の元利返済後のキャッシュフローは 707 千円とわずかのマイナスにとどまりました。

「秋田六郷店」 (単位：千円) ……2000 年 6 月 1 日オープン

	第 6 期 H12.6.1-30	当期 H12.7.1-H13.6.30
客室稼働率	11.7%	33.2%
客室単価	9,776 円	7,579 円
室料売上	170	11,028
室料外売上	0	85
売上合計	170	11,113
(償却前)費用合計	5,429	10,546
(償却前)営業損益	5,259	566



月別 客室稼働率



客室稼働率 近隣での工事関係者の利用が多かった 11~12 月を除き低迷し、当初目標の 40% を下回りましたが、春以降は着実に上昇傾向にあり、2 年目に入り前年比大幅増加となっています。

利用者構成 ビジネス利用が過半を占めていますが、ファミリーやカップルも漸増しています。

認知経路 ビジネス客が多いため、すでに再利用の割合が半数近くに達しています。

損益・収支 稼働率が目標値を大幅に下回り当期損益は 5,149 千円のマイナスとなりましたが、「秋田六郷店」においては借入れ負担がないため、キャッシュフローはほぼ均衡しました。

(3) 財政状態

貸借対照表 (単位：千円)

	前期末 H12.6.30	第1四半期末 H12.9.30	第2四半期末 H12.12.31	第3四半期末 H13.3.31	当期末 H13.6.30
(資産の部)					
流動資産					
現金預金	4,250	11,118	68,437	12,078	27,656
その他	9,424	8,435	230	56	1,738
流動資産合計	13,674	19,553	68,667	12,135	29,394
固定資産					
有形固定資産合計	288,080	292,050	294,661	347,671	370,444
無形固定資産合計	1,308	1,263	1,219	1,174	1,130
投資等	6,966	7,033	7,025	6,916	11,154
固定資産合計	296,355	300,347	302,905	355,762	382,729
繰延資産	6,456	5,649	4,880	4,106	3,967
資産合計	316,487	325,550	376,453	372,003	416,091
(負債の部)					
流動負債	27,123	26,161	15,295	16,987	17,770
固定負債	115,023	123,730	197,407	203,099	201,430
負債合計	142,146	149,891	212,703	220,086	219,201
(資本の部)					
資本金	249,000	249,000	249,000	249,000	281,000
資本準備金					19,200
剰余金					
当期末処分損益	74,659	73,341	85,249	97,082	103,309
(うち当期損益)	(28,676)	(1,318)	(11,908)	(11,833)	(6,226)
資本合計	174,340	175,658	163,750	151,917	196,890
負債資本合計	316,487	325,550	376,453	372,003	416,091
発行済株式数	4,980株	4,980株	4,980株	4,980株	5,620株
1株当たり純資産	35,008円	35,272円	32,881円	30,505円	35,033円

第4四半期における固定資産の増加は、「山中湖店」の建物の取得（建設費の支払い）、「沼田店」「水戸大洗店」の店舗敷金の支払いによるものです。

(4) 財務諸表作成の基本となる事項

当期末を除く四半期財務諸表の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き、正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している重要な会計方針等は「会社内容説明書 第4 経理の状況 重要な会計方針」をご参照ください。

事業年度の財務諸表作成のために採用している会計処理の原則および手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

固定資産の減価償却の方法

各四半期の減価償却費は年間発生見積額の1/4に該当する金額を計上しております。

繰延資産の処理方法

四半期末に保有する繰延資産の年間償却見積額の1/4に該当する金額を計上しております。

経過勘定項目

未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、資産および負債に計上せず期間費用として処理しております。

借入金の表示

長期借入金のうち、1年以内返済予定額14,796千円は流動負債として表示しております。

また、本決算速報の数値は速報値であるため確定した決算数値ではありませんので、確定決算値と数値が異なる可能性があります。

なお、当該四半期財務諸表については、公認会計士の監査証明を受けておりません。

(5) 会計方針の変更

該当事項はありません。

(6) 資金の状況

現預金の増減 (単位：千円)

借入金の増減 (単位：千円)

	第4四半期 H13.4.1～6.30		第4四半期 H13.4.1～6.30
期初現金預金残高	12,078	期初借入金残高	208,667
期末現金預金残高	27,656	期末借入金残高	206,780
四半期の増減	+15,578	四半期の増減	1,887

増減理由

第4四半期の資金の減少理由は、主に右記によります。

第4四半期の当期損失	6,226千円
減価償却費等	6,232千円
「山中湖店」の建物建設工事	24,850千円
「沼田店」「水戸大洗店」の家賃敷金の支払い	4,347千円
借入金および割賦未払金の返済	2,495千円
第三者割当増資による現預金の増加	51,200千円
その他	3,936千円
計	15,578千円

(7) 重要な後発事象

中小企業金融公庫より、「成長新事業育成特別融資」の借入れが決定

事業の新規性・成長性についての認定が受けられ、50,000千円の融資が8月中旬に実行されることが決まりました。年利1.45%（6年目より1.95%、いずれも固定）、元金均等による15年返済という条件です。

これは、4月に実施した第三者割当増資が当初予定の1,000株（80,000千円）に対し、640株（51,200千円）にとどまったことを補完する資金調達で、「山中湖店」「沼田店」「水戸大洗店」の開業資金および7号店以降の出店資金に充当する予定です。

東京シティ信用金庫より、短期借入れ

7月3日、東京シティ信用金庫より10,000千円の短期融資（上記の中小企業金融公庫からの融資実行時に返済予定）を受けております。

チェーン店の出店計画の進捗状況

(1) 4号「山中湖店」オープン

当初予定よりも2日早く、7月18日にオープンいたしました。8月上旬から中旬にかけてはすでにほぼ満室の状況となっております。



(2) 5号「沼田店」オープン

当初予定よりも1日早く、7月26日にオープンいたしました。「山中湖店」と比べ予約数が伸び悩んでおりましたが、東京電力（土地所有者）や尾瀬林業（建物所有者）の協力などにより8月中旬はほぼ満室となっております。



(3) 6号「水戸大洗店」について

順調に工事が進んでおり、予定どおり9月中旬に竣工10月1日オープンの予定です。支配人の人選も終わり、9月より研修に入る予定です。



(4) 7号店以降の計画について

「旅籠屋」の知名度のアップにともない、各方面より土地活用の引き合いを多く受けるようになっております。具体的には、福島県の猪苗代湖周辺、伊豆熱海周辺への出店計画を具体的に検討しております。

今後の業績予想

第8期通期の売上高および利益の予測について（単位：千円）・・・H13.2.23「事業計画書」による

	第7期（速報実績） H12.7.1～H13.6.30	第8期（予想） H13.7.1～H14.6.30
売上高	80,450	145,568
営業損益	23,080	7,103
経常損益	27,879	16,103
当期損益	28,650	18,162

当期の決算を踏まえ、8月末をめどに「事業計画書」の改訂作業を進めております。今後の店舗展開と損益や資金収支の見通しを明らかにし、平成15年6月期の単年度黒字化と平成16年6月期決算を基準とした株式公開を実現したいと考えております。

以上